

臨床研究に関する情報公開について

当院では、倫理委員会の承認得て、下記の臨床研究を実施しています。研究は対象となる患者様から個別に同意を得て行う研究ではなく、国が定めた指針に基づき、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われる研究になります。研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名：凍結融解胚移植における子宮内膜調整法のホルモン補充周期から自然排卵周期への施設プロトコル変更が産科合併症に与える影響

研究責任者：俵史子

研究目的と意義：当院では凍結融解胚移植においてホルモン補充周期を第一選択とする方針から、可能な症例については自然排卵周期を第一選択とする方針へ変更しました。この子宮内膜調整法に関する施設方針の変更が周産期合併症の発症率低下をもたらしたかを検討します。

研究方法：当院で凍結融解胚移植を実施した症例を対象に、自然排卵周期群とホルモン補充周期群の妊娠率および流産率を、不妊原因やBMIなどの患者背景を考慮した詳細な解析を行います。また、両群における産科合併症の発生頻度についても検討します。

対象となる患者様：2015年9月から2021年9月の間に当院で実施した9,377周期の凍結融解胚移植（HRC：4,285周期、NC：5,092周期）

発表学会（日時）：第70回生殖医学会（2025/4/27-28）および医学雑誌への投稿

個人情報の取り扱い：本研究に使用するデータにはお名前、住所など個人を特定できる情報は一切含んでおりません。また、研究成果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究の対象となる患者様は参加への拒否を申し出ることができます。2025年4月13日までに下記へお問い合わせください。この期日以降は利用する情報から個人情報を削除するため、利用する情報が削除不可能となります。

研究番号：2025 -0004

問い合わせ先：

【住所】 静岡市駿河区泉町2-20

【担当者】 福田純子

【電話番号】 054-288-2882

【FAX】 054-288-2883

【メール】 tawara-ivf@i.softbank.jp

以上